



## ケニア

### 企業実態調査レポート【1】: SURGIPHARM LIMITED

～ 医薬品輸入・販売会社 ～

#### ■ ケニア共和国 — 基礎データ —

- 面積: 591,958平方キロメートル [日本の約1.5倍]
- 人口: 約4,180万人 (2013年 推計値 ケニア国家統計局)
- 首都: ナイロビ / 人口約314万人 (2009年 ケニア国家統計局)
- 名目GDP総額: 441億ドル / 1人当たり名目GDP: 1,016ドル (2013年)
- 実質GDP成長率: 4.7% (2013年)
- 為替レート: 1ドル ≒ 86.1229 ケニア シリング (2013年 平均値)

出所: JETROホームページ 国・地域別情報(J-FILE)「ケニア概況(2014年10月更新)」



■ 調査実施日 : 2014年 7月28日

■ 分野 : 医薬品の輸入・販売

■ 特徴 : 社会貢献活動の一環として、糖尿病無料診断等の実施。

#### 企業概要

■ 社名 : SURGIPHARM LIMITED

■ 本社住所 : Nivina Towers 71, Westlands Road P.O Box 46043 - 00100  
Nairobi, Kenya (ナイロビ中心地から車で45分)

■ 主要拠点 : ナイロビ本社その他、ケニア沿岸部をカバーするため  
モンバサに支店を置いている。海外支店はなし。  
本社内に整理の行き届いた広い倉庫を持つ。  
また、モンバサ支店の周辺に幾つかの倉庫を持つ。

■ 設立年 : 1985年

■ 従業員数 : 332人(マーケティング要員70人を含む)

■ 主な輸入元 : GlaxoSmithKline、Pfizer、Smith & Nephew、  
Becton, Dickinson、Medtronic、Novartis、  
AstraZeneca、Sanofi、住友化学 など。  
ケニア国内に拠点を持たない海外の医薬品メーカーに  
代わり、国内の輸入許可を取得している。

■ 供給先 : 卸売業者、薬局、政府機関、病院、診療所、薬剤師等

■ 社是 : 医療機関と患者を第一に考え、東アフリカの医療需要に  
合致した品質の高い医薬品および、医療、診療、診断、  
一般市販用機資材・用品を効果的に供給する。



会社のロゴマーク



整理の行き届いた倉庫



棚卸しをする職員

## 社会貢献活動：無料の糖尿病診断の実施

SURGIPHARM社は無料で糖尿病診断を行う医療キャンペーン等を実施している。特に近年、若年層にも糖尿病が見られる中、食事や運動などを通じて予防できることなどはまだ十分に認識されていない。人々の糖尿病に対する知識を高めるため、無料で糖尿病診断を実施し、糖尿病に関する教育等を行っている。

### ● 診断方法

携帯用の簡易な血糖値測定器で数値を計り、受診者に結果を伝えている。正常値を超えた場合、最寄りの医療機関での治療を勧める他、血糖値を下げる食事療法等を指導する。併せて、家族のメンバーも糖尿病にかかっていないか、無料診断への参加を勧める他、念のため病院でチェックするよう勧めている。

正常値以内の場合も、糖尿病予防のための食事や運動などの生活指導を行っている。

### ● 実施頻度

ナイロビおよびその他の地域で年間2~3回実施。

SURGIPHARM社は医薬品の流通企業であり、社内に医師を抱えていないため、本キャンペーン実施の際は、外部の医師による血糖値測定器を用いた診察行為の立ち合いや、アドバイス・生活指導などの協力を受けている。この他、NGOや私立病院、政府機関と連携しながら実施している。

なお、糖尿病診断等のキャンペーンにかかる経費は、社会貢献活動の一環として、基本的にSURGIPHARM社が負担している。



診療・サービス案内の看板  
(ナイロビ・バガシ地域病院)



血糖値測定器  
(台湾: TysonBio社製)



糖尿病診断に使用している、携帯用の血糖値測定キット  
(台湾: TysonBio社製)



## 競合他社

- Nairobi- Omaera Pharmaceuticals
- Transchem Pharmaceuticals
- Laborex Kenya
- Njimia Pharmaceuticals
- Nila Pharmaceuticals
- Pentrapharm pharmaceuticals



## 訪問後の編集後記

### ● 評価

SURGIPHARM社は、国内全土に広がる販売ネットワークを持つケニアのリーディングカンパニーの一つ。その国内に広がる販売網の顧客から、広範で多様なデータが集まってくることで、製品の特定を可能にし、それを元に成長してきている。

### ● 課題

未発達な流通構造。

### ● ケニア進出に当たっての日本企業の留意事項

①上記の通り、流通構造が整っていないことが進出後の障害となるため、その中で活動しなければならないことを充分織り込んでおく必要がある。

②保健衛生分野におけるステークホルダーの位置付けは大きく、これを支えて、ケニア薬物毒物委員会(Pharmacy & Poisons Board of Kenya)とケニア標準局(Kenya Bureau of Standards: KEBS)が連携し、新薬等の国内導入管理をしている点も留意すべきである。



ケニアの薬局の棚



ケニアの輸送トラック



# JETRO

【免責事項】本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用ください。ジェトロでは、できるだけ正確な情報の提供を心掛けておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、ジェトロ及び執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。